

Sleep Innovation Platform

第 1 回

Sleep Innovation Platform

運営委員会 ご報告資料

2022 年 6 月 1 日（水） 開催

開催概要

【日時】 2022 年 6 月 1 日（水）15 時 00 分～16 時 00 分

【場所】 西川株式会社 セミナールーム （一部オンライン各拠点）

【参加者】 出席者数：38 名

■ 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課

藤岡 雅美（総括補佐）、山崎 牧子（補佐）、福永 俊明（専門官）、野原 健矢（係長）

■ 日本総合研究所

土谷 敦司

■ WPI-IIIIS 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構>

柳沢 正史(理事長)、徳山 薫平(WG1 座長)、小久保 利雄(運営委員)

■ 株式会社アシックス

田川 武弘(運営委員)、市川 将(WG3)、石野 和人(WG2 座長)

■ 伊藤忠商事株式会社

岩田 憲司(運営委員) ※オンライン参加、永瀬 理絵 (WG2)

■ 株式会社 S'UIMIN

藤原 正明(運営委員)

■ 東京海上日動火災保険株式会社

伊藤 賢(理事)、高橋 あずさ(運営委員)、榎本 侑輔(WG2)、岩國 慎也

■ 西川株式会社

西川 八一行(理事)、竹内 雅彦、藤ヶ森 仁、田島 幸(運営委員)、
野々村 琢人(WG3 座長)、藤本 秀人(WG2)

■ 日本生命保険相互会社

須永 康資(運営委員)、巢河 智(WG1、2)、磯野 浩嗣(WG1、2)

■ パラマウントベッド株式会社

小林 正樹、初雁 卓郎(運営委員)、木暮 貴政(WG1)、三須 正則、椎野 俊秀(WG1)、
山品 善嗣(WG1、2)、 林 貴道(WG2)

■ 事務局

矢萩 元重、北本 嘉一、荒川 泰典、森下 みゆ、青木 真理、松田 尚也

1. 理事長ご挨拶

筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 WPI-IIIIS 機構長・教授 柳沢 正史



この度、このようなコンソーシアムが始まることを嬉しく思っている。睡眠の神経科学の基礎的な動物実験を中心とする研究を行っているが、このような形の睡眠の研究の社会実装に力を入れていきたいと思っている。株式会社 S' UIMIN という筑波大学のベンチャーも立ち上げて、脳波レベルの睡眠も測れるようなシステムを作っている。日経睡眠カンファレンスでは 1300 人を超える参加があり、人数からもわかるように、この分野は社会的にも注目を集めている。一方では、しっかりとしたエビデンスがないような製品・サービスも散見される。それに対する足かせとなるようなメカニズムも含めて、この会が社会の役に立っていけることを願っている。

2. 基調講演

<藤岡 雅美：経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課 総括補佐>



「健康という価値の再定義とこれからのヘルスケア政策～PHR やエビデンス確保の視点から～」についてご講演いただきました。

3. 理事会承認の報告

(1) 役員紹介

<理事長> 柳沢 正史 (筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 WPI-IIS 機構長・教授)

<理事> 伊藤 賢(東京海上日動火災保険株式会社 東京中央支店 支店長)

従来はヘルスケア、健康経営という形で、各企業様のデータヘルスマネジメント等に注力して来た。今回はスリープテックという専門分野で皆様と共に新たな未来を創っていききたい。会の運営という観点でも後押しをさせていただきたい。

<理事> 西川 八一行 (西川株式会社 代表取締役社長)

睡眠は健康の基本である。食・運動・休養の中の睡眠が占める役割を社会に発信し、またそれをどのように社会実装できるかを以前から考えていた。そんな中、テクノロジーの進化も含め、個々の方々の睡眠を可視化できるようになり、さまざまな睡眠中のデータを利活用可能な段階になってきた。一方で、睡眠がとれないというご不満をお持ちの方も多。フェアなバリューが表現できているもの、そうでないものが玉石混交となってしまうリスクもある。今後はそのようなサービスを基準化し、互いの異業種・業態で利活用していくことにより、今までの「睡眠をとれない」というネガティブをゼロに持っていくことと、民間企業も含めて活用していくことで、新たな価値を創り出すというステップになればと思っている。皆様の様々な知見をお貸しいただき、いわゆる健康な睡眠ソリューションというものが、今後世界の役に立つようになれば良いと思う。

<監事> 的場 佳子 (伊藤忠商事株式会社 人事総務部 部長)

(2) アドバイザリーボードメンバー紹介

- ・柳沢 正史 (筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 WPI-IIS 機構長・教授)
- ・西野 精治 (スタンフォード大学医学部精神科 教授)
- ・宮田 裕章 (慶応義塾大学医学部 教授)

(3) 会則紹介

(4) Sleep Innovation Platform 運営体制の紹介

事務局長の北本 嘉一(西川株式会社)より運営体制の報告を行った。



(5) 運営委員紹介

① 小久保 利雄 (WPI-IIIS ハイクラスリサーチアドミニストレータ)



今回運営委員を代理として務めさせていただく。昨年3月までIIISの教授であったが、定年退官し、株式会社S' UIMINの研究支援本部長を務めている。

② 田川 武弘（アシックススポーツ工学研究所 スポーツコンテンツ研究部 部長）



WG は3つすべてに参画しており、WG2 に関しては座長を務めている。一昨年に「ビジョン 2030」を発信し、誰もが一生涯、運動・スポーツを通じて心も体も満たされるというライフスタイルを創造するということを掲げている。その一環で、睡眠に関する研究も行っている。西野先生のご助言もいただきながら、低酸素環境における運動・睡眠の関係などを研究している。運動が本業ではあるが、運動×睡眠で新たな価値を創造したい。

③ 岩田 憲司（伊藤忠商事株式会社 人事総務部 企画統括室企画統括 室長）



当社は健康経営を実践しているが、特に朝方勤務ということで、朝 8 時までに出勤した社員に軽食を無償で提供するなど、朝型へシフトするという社会実験を行っている。人生の 3 分の 1 は睡眠といわれるので、より有効的に使うことにより仕事の効率も上がる。今回社会実験の場として様々な実験を試していきたいという想いで参加させていただいた。

④ 藤原 正明 （株式会社 S' UIMIN 代表取締役 社長）



一昨年の秋から、睡眠計測事業をスタートしている。日常の睡眠を、家庭・宿泊先どこでも測定できることが理想で、現在数千人分のデータが溜まりつつある。SIP ではそれらのデータを、ビジネス、研究活動にご活用いただければと思う。

⑤ 高橋 あずさ

（東京海上日動火災保険株式会社 企業営業開発部 団体契約サポートグループグループ リーダー）



保険というと、どうしても病気になってからというイメージが強いが、昨今では未病の段階、予防の段階、企業向けには健康経営のサービスも展開している。健康と切っても切れないのが睡眠で、特に睡眠の質を向上することは重要だと考えている。コンソーシアムを通じて質の高いサービス開発をできればと思い参画させていただいた。

⑥ 田島 幸（西川株式会社 経営戦略室 部長）



弊社は WG3 の座長を務めさせていただく。弊社は寝具製造から睡眠ソリューションの企業へと改革を進めている。この会を通じて国民の睡眠の質向上、企業の生産性向上に寄与できればと思う。

⑦ 須永 康資（日本生命保険相互会社 ヘルスケア事業部 ヘルスケア事業企画担当部長）



保険会社といえば万が一の時の補償とイメージされる方が多いが、リスク管理・リスクそのものの低減をしていくという意味で、今年ヘルスケア事業部を立ち上げた。その中でも、体の領域と心の領域の重要なものが睡眠と考えているので、新たなサービスの企画・開発ができればと思う。

⑧ 初雁 卓郎 (パラマウントベッド株式会社 デジタル事業開発部 シニアマネージャー)



ベッドとそれに付随するマットレスを病院中心に提供してきた。今では「健康」というところを目指して取り組んでいる。24 年間睡眠研究を継続してきたので、シナジーを発揮しながら、この分野を盛り上げていきたい。

(6) Sleep Innovation Platform 事業内容紹介

各 WG の座長が背景と目的や活動のポイント、成果物、スケジュール等事業内容を報告した。

■WG.1「サービス品質チェック基準検討」

座長：徳山 薫平 (WPI-IIIS 教授)



■WG.2「新たな睡眠ビジネス検討」

座長：石野 和人(株式会社アシックス スポーツ工学研究所 スポーツコンテンツ研究部)



■WG.3「睡眠データ基盤検討」

座長：野々村 琢人（西川株式会社 日本睡眠科学研究所 所長）



(6)新規加盟企業紹介

下記 2 企業が理事会にて承認されたため報告を行った。

- ・カルビー株式会社
- ・三井不動産株式会社

3. 閉会

西川 八一行（西川株式会社 代表取締役）



今後はWGを中心に、より活発なご意見をいただきたい。また、WGは密接に関連しており、それぞれが決めたり、考えたりしたことをフィードバックすることで進捗が図れるという関係になっているので、是非定期的に情報交換ができればと思う。

以上